

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)					区分						
会計区分	款	項	目	所管							
介護保険事業特別会計	3	1	1、2	保健福祉局	福祉部	介護保険課					
事務事業の位置付け											
しあわせ倍増プラン2009	番号	37-2	事業名	介護予防							
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名								
根拠法令等	介護保険法、さいたま市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、さいたま市ヘルスプラン21計画										
予算要求事業の概要											
内容	<p>要介護(要支援)になる恐れのある方(特定高齢者)を対象に、運動器の機能向上や口腔機能向上、栄養改善指導等の事業を実施し、要介護(要支援)状態への悪化を防止します。</p> <p>また、元気な高齢者(一般高齢者)を対象に、現在の健康を維持・向上してもらうために、高齢者向けの運動やストレッチ、また介護予防に関する知識や情報の提供を行うため、各種プログラムを実施するものです。</p>										
目的・目標	<p><目的></p> <p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、各種介護予防事業への参加を促し、健康の維持・向上を目指します。</p> <p><目標(平成24年度末)></p> <table border="0"> <tr> <td>1 介護予防特定高齢者施策事業参加者数</td> <td>1,800人</td> </tr> <tr> <td>2 介護予防一般高齢者施策事業参加者数</td> <td>15,000人</td> </tr> </table>							1 介護予防特定高齢者施策事業参加者数	1,800人	2 介護予防一般高齢者施策事業参加者数	15,000人
1 介護予防特定高齢者施策事業参加者数	1,800人										
2 介護予防一般高齢者施策事業参加者数	15,000人										
現状と課題	<p><現状(平成21年度末見込み)></p> <table border="0"> <tr> <td>1 介護予防特定高齢者施策事業参加者数</td> <td>1,200人</td> </tr> <tr> <td>2 介護予防一般高齢者施策事業参加者数</td> <td>12,000人</td> </tr> </table> <p><課題></p> <p>事業を拡大するに当たり、委託先との調整及び、実施場所の確保が必要となります。</p>							1 介護予防特定高齢者施策事業参加者数	1,200人	2 介護予防一般高齢者施策事業参加者数	12,000人
1 介護予防特定高齢者施策事業参加者数	1,200人										
2 介護予防一般高齢者施策事業参加者数	12,000人										
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年度 介護予防特定高齢者施策事業参加者 1,400人 介護予防一般高齢者施策事業参加者 13,000人 ・ 平成23年度 介護予防特定高齢者施策事業参加者 1,600人 介護予防一般高齢者施策事業参加者 14,000人 ・ 平成24年度 介護予防特定高齢者施策事業参加者 1,800人 介護予防一般高齢者施策事業参加者 15,000人 										

2 予算要求の内容と査定結果

(単位 : 千円)

区分	金額	備考
平成21年度	当初予算	255,010 <積算内訳> 1 介護予防特定高齢者施策事業に係る書籍及び宛名ラベル費用 27 2 特定高齢者向け介護予防教室等経費 193,000 3 一般高齢者向け介護予防教室等経費 61,983
平成22年度	当初予算要求	222,964 <積算内訳> 1 介護予防特定高齢者施策事業に係る書籍及び宛名ラベル費用 27 2 介護予防教室修了証印刷費【新規】 150 3 特定高齢者向け介護予防教室等経費 149,620 4 一般高齢者向け介護予防教室等経費 60,535 5 うんどう遊具修繕費用【新規】 5,000 6 うんどう遊具新設費用【新規】 3,232 7 テレビ画面を使った介護予防機器設置費用【新規】 4,400
平成22年度	財源内訳	44,593 <要求理由> 高齢者が元気に過ごすため、介護予防事業や一般高齢者を対象とした運動や栄養に関する各種教室などの必要経費を要求するものです。
平成22年度	財政局長査定	218,680 <査定内容> 1 介護予防特定高齢者施策事業に係る書籍及び宛名ラベル費用 27 2 介護予防教室修了証印刷費【新規】 0 3 特定高齢者向け介護予防教室等経費 148,000 4 一般高齢者向け介護予防教室等経費 58,091 5 うんどう遊具修繕費用【新規】 12,562 6 うんどう遊具新設費用【新規】 0 7 テレビ画面を使った介護予防機器設置費用【新規】 0
平成22年度	財源内訳	43,736 <査定理由> 介護予防教室等経費については、前年度の実績を参考にして精査しました。 また、うんどう遊具については修繕を優先することとし、新設については予算化を見送りました。
平成22年度	市長査定	218,680 <査定内容> 同上
平成22年度	財源内訳	43,736 <査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案どおりとしました。